

```
////////////////////////////////////  
//                                                                    //  
// 新たなエンジンベース試験モードの変換アルゴリズム -火花点火エンジン- //  
//      --- FORTRAN version ---                                       //  
//                                                                    //  
////////////////////////////////////
```

1. 動作確認済 OS

基本的には OS 環境に依存することなく動作します .

現状では以下の環境での動作を確認しています .

Windows 2000, XP, NT, 98

Red Hat Linux 7.2

Sun OS 5.6

2. プログラム言語

FORTRAN90

! FORTRAN90 または以降をサポートする FORTRAN コンパイラを必要とします .

! FORTRAN77 コンパイラでは翻訳できません .

3. ファイルリスト

本プログラムは以下の 5 つのファイルによって構成されています .

convG.f90 : プログラムソースコード

Moe_ed12G.txt : ED12 モードファイル

DATA : データセット定義ファイル

spec_moeG2.txt : 車両諸元サンプルデータ

maxtq_moeG.txt : 最大トルクサンプルデータ

4. 動作確認済みコンパイラおよび翻訳方法

本プログラムを翻訳するには FORTRAN90 以降をサポートするコンパイラが必要です .

実行形式ファイルの作成には "convG.f90" のみを使用します .

特殊なライブラリの使用やコンパイラオプションの指定は必要ありません .

コンパイラごとの詳細な翻訳方法はお持ちの環境のマニュアルを参照してください .

本プログラムは以下のコンパイラで動作確認を行っています。
参考のため、各コンパイラにおける翻訳コマンドを例示します。
(実行ファイル名は Windows 用 'convG.exe', Linux&UNIX 用 'convG' とする。)

for Windows

(1) Intel Fortran Compiler for Windows (Version6.0)

>> ifl convG.f90 /FeconvG.exe

(2) Fujitsu Fortran & C Package for Windows (V2.1, V3.0L10)

>> frt convG.f90 -o convG.exe

(3) Compaq Visual Fortran for Windows (version 6.6.a)

>> df convG.f90 /exe:convG.exe

for Linux

(4) Fujitsu Fortran & C Package for Linux (V3)

>> frt -o convG convG.f90

(5) Intel Fortran Compiler for Windows (Version6.0)

>> ifc -oeconvG convG.f90

for UNIX

(6) Sun Workshop Compilers 4.2 (FORTRAN 90 1.2)

>> f90 convG.f90 -o convG

富士通製 Fortran コンパイラでは翻訳時に以下の警告が出力されるが、
他環境との互換性確保のため意図的にプログラムしているものであり、無視してください。

Fortran diagnostic messages: program name(readpattern)

jwd2004i-i "convD.f90", line 803: この変数 tmp は、値を設定していますが引用されていません。

jwd2004i-i "convD.f90", line 808: この変数 vdestT は、値を設定していますが引用されていません。

jwd2004i-i "convD.f90", line 808: この変数 timeT は、値を設定していますが引用さ

れていません.

Fortran diagnostic messages: program name(readtq)

jwd2004i-i "convD.f90", line 890: この変数 tmp は,値を設定していますが引用されていません.

5. 履歴

- 2002/10/15

試験モードを外部ファイルとして与えるよう仕様変更

- 2002/8/21

最大トルクの計算をスプラインから直線補間へ変更

結果の出力をスペース区切りからタブ区切りへ変更

- 2002/8/7 ver 1.1

トルク値が負となる部分をモータリング 'M' で表示するよう変更

- 2002/7/31 ver 1.0

再加速時のギヤ保持時間が守られない不具合の修正

発進時間のギヤに保持時間の制限がかかっていた点を修正

- 2002/7/30

常用最低回転数付近でトルク不足となった場合に無限ループに入る場合がある

不具合の修正

- 2002/7/25

第 1 版作成